

令和８年度第１回東郷町地域公共交通会議 議事録

日時 令和８年６月１２日（金）

午後２時３０分から午後４時３０分まで

場所 東郷町役場２階 大会議室

出席者（敬称略・順不同）

	役職	所属等
1	会長	名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授
2	副会長	東郷町福祉こども部長
3	委員	諸輪地区代表
4	委員	祐福寺地区代表
5	委員	白土地区代表
6	委員	和合ヶ丘地区代表（代理出席：顧問）
7	委員	名鉄バス株式会社 交通企画官
8	委員	愛知県バス協会 専務理事
9	委員	瀬戸自動車運送株式会社 取締役
10	委員	名古屋タクシー協会 専務理事
11	委員	愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事
12	委員	中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官
13	委員	愛知県都市・交通局交通対策課 担当課長（代理出席：主事）
14	委員	愛知県尾張建設事務所 維持管理課長
15	委員	愛知県愛知警察署 交通課長（代理出席：係長）
16	委員	東郷町まち整備部長
17	委員	日進市都市産業部都市計画課 移動政策室長
18	委員	みよし市企画部 企画政策課主幹
19	委員	豊明市行政経営部 企画政策課長

欠席者 １名（御岳地区代表）

傍聴者 ３名

1 町長あいさつ

- ・ 昨年度は公共交通に関する各種アンケート調査のほか、町内全地区で住民懇談会を開催するにあたり、ご尽力いただいた関係者の皆さまに感謝申し上げます。
- ・ 「誰ひとり取り残さない公共交通」を町政の重要な柱として掲げており、懇談会には私自身も参加し、町民の皆さまの生の声を直接お聞きすることができた。様々な意見をしっかりと受け止め、その上で決断をしていく姿勢を大切にしている。
- ・ 昨年度の会議では「じゅんかい君の増車・増便」、「デマンドタクシーの受益者負担の適正化」など、将来の公共交通を形作る大切な方針について、委員の皆様にご承認いただいた。今年度は次期公共交通計画を策定する年で、本町の目指すべき公共交通の将来像を定める重要な年になると考えている。
- ・ 公共交通を取り巻く環境は依然として厳しく、難しい判断を求められることもあると思うが、町民の声や委員の専門的な知見を丁寧に積み重ねていけば、最良の答えにつながると信じている。
- ・ 「誰ひとり取り残さない公共交通」の実現に向け、忌憚のないご意見を賜りたい。

2 委嘱状交付及び

- ・ 委員に委任状を交付
- ・ 委員互選により、会長を選出（名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授を選任）
- ・ 会長指名により副会長を選出（町福祉こども部長を選任）
- ・ 会長指名により監事を選出（諸輪地区代表、町まち整備部長の2名を選任）

3 会長あいさつ

- ・ 公共交通に関しては、運転手が不足しており増やそうにも増やせない、戦争が続いており燃料が入ってこないなど、本当に厳しい状況である。
- ・ 人口構成が徐々に変化するなかで、以前は広域的な名古屋や豊田への通勤利用が多かったが少しずつ減少し、代わりに高齢者による域内の移動が増加しており、コミュニティバスやデマンドの利用が増えてきている。このような変化は、わが国ではこれまでに経験したことがない状態である。
- ・ オンデマンドをはじめ、新しい交通システムが必要になってきている。法体系もそれに合わせた形で変わってきており、誰ひとり取り残さない交通体系を作りあげていくことが出来る状況になってきている。
- ・ 皆さまのお知恵を借り、町民にとって使いやすく便利な公共交通を実現するため、引き続き皆さま方のご協力をお願いしたい。

4 議題

(1) 令和7年度事業報告について（資料1）

【事務局資料説明】

(2) 令和7年度歳入歳出決算報告について（資料2）

【事務局資料説明及び監事から監査報告】

【会長】

- ・ 事業報告を見ると、利用促進として様々なイベント実施していることが良く分かる。イベント開催にあたり、協力いただいた運行事業者様にも、改めて感謝申し上げる。
- ・ 決算に関して、歳入・歳出の額が大きくなっているのは、事務局からも説明があったが、昨年度から国の補助金が一度この会議に入るように制度が変わったためである。
- ・ 補助金に関して、予算額に対して決算額が減額されているのは何故か。

【事務局】

- ・ フィーダー系統補助金の予算額は前々年度（令和6年度）の実績に基づいて設定したが、交付される補助金額は運行経費、運賃収入等の状況に変化するものであり、昨年度（令和7年度）の交付額が予算額より少なかったため減額となった。

※議題(1) 及び(2)について、委員の承認を得た。

(3) 地域公共交通計画認定申請について（資料3-1、3-2）

【事務局資料説明及び愛知県都市・交通局交通対策課より補足説明】

【愛知運輸支局】

- ・ 計画で設定した目標値を大きく上回っているのは素晴らしい。
- ・ 幹線系統である北コースに関して、広域的な市町を跨いだ利用者数を大まかでも教えていただきたい。

【事務局】

- ・ 市町を跨いだ日進駅バス停の利用者数は、令和6年度の実績で約7万3千人と北コース利用者の25%程度※となっている。また、昨年度実施した乗降調査においても母数は小さいが、同様に25%程度※が日進駅で乗降している。

※会議においては、5割程度と回答しましたが、25%程度に訂正します。

（理由：北コースの全利用者数を算出する際、乗車人数と降車人数の合計とすべきところ、乗車人数のみで計算していたために誤りが生じました。）

【会長】

- ・ 多くの方が日進駅を利用しており、幹線系統としての役割をしっかりと果たしていることが良く分かる。
- ・ 計画で設定した目標値は既に達成しており、独自にさらに上の目標として運行経費がコロナ前の令和元年と同水準になるような利用者数を目標値として設定している。目標達成に向けて町だけでなく住民、交通事業者等と協力して各種事業を実施していくことを確認いただきたい。
- ・ 昨年度の補助金の実績はどの程度であったか。

【事務局】

- ・ フィーダー系統が約338万円で、幹線系統補助が約215万円であった。

【会長】

- ・ 今後、愛知運輸支局とやり取りをして軽微な修正はあるかもしれないが、本質は変わ

らないので事務局にお任せいただきたい。

※議題(3)について、委員の承認を得た。

(4) 地域公共交通計画の評価等結果について（資料4）

【事務局資料説明】

【会長】

- ・ 「バス停利用者数」が目標値に少し足りないのは、徳重駅とららぽーと愛知東郷を結ぶバス路線が休止したためであると思うが、「公共交通全体の利用者数」が目標値未達となっている原因は何か。

【事務局】

- ・ 名鉄バス路線の利用者数が近年頭打ちとなっていることと、じゅんかい君の利用者数に関しても、コロナ明けから順調に伸びてきたが昨年度は伸びが鈍化して微増であったことが原因と考えている。

【会長】

- ・ コロナ前の水準まで利用者数が戻っている幹線系統はかなり少なく、チャレンジングな目標設定だったかもしれないが、諦めずに目標達成に向けて頑張ってください。

※議題(4)について、委員の承認を得た。

(5) 次期地域公共交通計画の課題及び基本方針について（資料5）

【事務局資料説明】

【会長】

- ・ 他の市町では観光に関することが入れているところもあるが、東郷町は必要ないか。
- ・ 高齢者や子どもについて明記されていないがどう考えているか。

【事務局】

- ・ 愛知池も観光というほどの集客はなく、他にも観光と呼べるものがない。
- ・ 基本方針3で想定する施策例として「世代ごとのモビリティ・マネジメント」と記載しており、高齢者や子どもに対して各年代にあった施策を実施することを考えている。具体的な施策は今後考えていく。

【和合ヶ丘地区】

- ・ P44の幹線バス欄に記載の（仮称）尾三南北線とはどの路線のことか。

【事務局】

- ・ 今後、尾三地区として計画したいと思っている路線であり、現在運行している路線ではない。現在、広域的な路線として町を東西に走る名鉄バスの星ヶ丘・豊田線が運行しているが、南北に走る路線がないため、将来的にそのような路線を計画したいとの思いで記載している。

【会長】

- ・ 先ほど町長が挨拶で述べられた「誰ひとり取り残さない」という文言は入れなくてもよいかな。

【事務局】

- ・ 直接的な文言では入れていないが、交通将来像で示している「公共交通が暮らしとともにある 安心して住み続けられるまち」は、その意味も含めている。

【会長】

- ・ 福祉や教育等、他の分野との連携がなければ、誰ひとり取り残さない公共交通を作るのは難しい。そういった意味でも、文章内に「福祉」という文言を入れたほうが良いので、基本方針3に記載の「医療施設」を「医療福祉施設」に修正しましょう。
- ・ 外国人については考えなくて良いかな。
- ・ 最新技術に挑戦する予定はないかな。

【事務局】

- ・ 近年、町在住の外国人数及びバス利用者数が増加傾向にあるため、施策として考えなければならない。具体的には今後考えていく。
- ・ まずは、現状の路線を確実に維持すること、また路線見直しの際には増車を考えており、そこを最優先としたいため、最新技術に関しては様子を見ながら考えていきたい。

※議題(5)について、委員の承認を得た。

(6) じゅんかい君の路線見直しについて（資料6-1、6-2）

【事務局資料説明】

【会長】

- ・ 住民懇談会で見直し案に対して住民から反対意見等はなかったか。

【事務局】

- ・ バス停の位置や路線について細かな要望はあるが、全面的に反対という意見は今のところ出ていない。

※議題(6)について、委員の承認を得た。

(7) 東郷・藤田医大バスの廃止について（継続審議）（資料7）

【事務局資料説明】

【会長】

- ・ 前回の会議でも説明いただいたが、現在本路線を利用されている方は、廃止後はどのような手段があるかを、改めて説明してください。

【事務局】

- ・ 町内の白土・音貝地区や赤池駅で名鉄バスの豊明団地線に乗ることで、徳重駅を経由して乗換え無しで藤田医大に行くことが出来る。又は、前後駅へ行けば藤田医大まで

名鉄バスが多くの本数を走らせているので、それを使っていただくこととなる。

※議題(7)について、委員の承認を得た。

5 その他

(1) 東郷町コミュニティバス、デマンドタクシー及び名鉄バス東西線の利用状況について（資料8-1、8-2、8-3）

【事務局資料説明】

【会長】

- ・ 毎年、詳細に利用状況等のデータをまとめており、重要な基礎資料となっている。
- ・ 全体を見渡して心配している点等はないということでしょうか。

【事務局】

- ・ 心配というほどではないが、昨年度じゅんかい君の利用者数の伸びが鈍化したので、今後の推移を注意深く見ていかなければならないと考えている。

【会長】

- ・ 北コースの利用者数が減少しているとのことであるが、どの利用者層が減少したか、なぜ減少したかは分かっているか。

【事務局】

- ・ どの利用者層が減少したかまでは把握できていないが、昨年度、安城にららぽーとが開業したので、影響しているかもしれない。

(2) 地域の輸送資源活用事業（実証運行）の延長について（資料9）

【事務局資料説明】

【会長】

- ・ 登録者数は増えているので今後は利用につなげていくこと。
- ・ 周知も忘れずをお願いしたい。

(3) 令和8年度東郷町地域公共交通計画に関する事業計画について（資料10）

【事務局資料説明】

(4) その他

【会長】

- ・ 事務局から何かあるか。

【事務局】

- ・ 特にない。

以 上